

[5] 原価計算について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 企業は目標利益をもとに、目標売上高を算出する利益計画を立てる。その際、直接原価計算が全部原価計算より適している理由について、簡潔に説明せよ。
- (2) A製品を生産しているB製作所では、標準原価計算を採用している。次の資料1～3によって、直接労務費差異と賃率差異を答えよ。なお、解答欄の()内に不利な差異は－(マイナス)、有利な差異は＋(プラス)と記入すること。

資料1

標準原価カード			
	標準直接作業時間	標準賃率	標準原価
直接労務費	2時間	@¥1,250	¥2,500

資料2 当月の製造に関するデータ

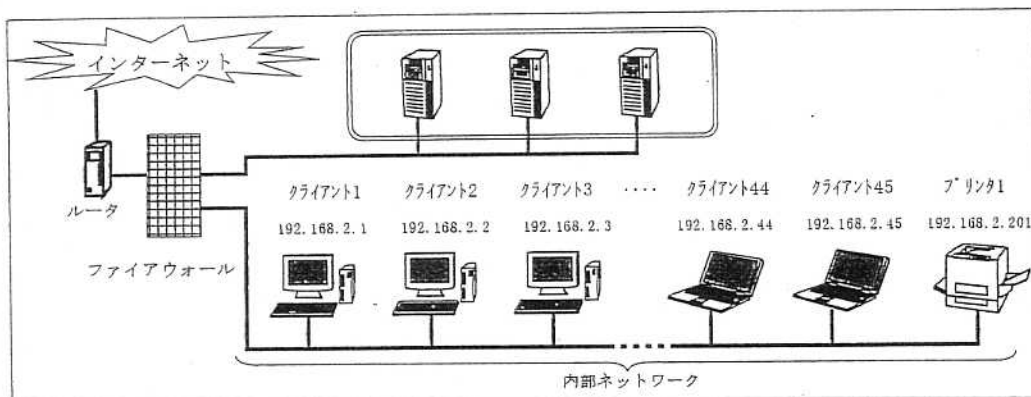
月初仕掛品	300個(仕上がり程度50%)
月末仕掛品	100個(仕上がり程度50%)
完成品数量	1,100個

資料3 当月製造費用実際発生額に関するデータ

直接労務費	¥2,730,000	実際直接作業時間	2,100時間
-------	------------	----------	---------

- (3) 標準原価計算によって生じる賃率差異と作業時間差異の主な発生原因を、それぞれ簡潔に説明せよ。

[6] 次のある企業のネットワーク構成の模式図と参考資料を見て、下の(1)～(4)の問いに答えなさい。



参考資料(OSI参照モデル)

アプリケーション層
プレゼンテーション層
セッション層
トランスポート層
ネットワーク層
データリンク層
物理層

- (1) ネットワーク接続機器として、図中のルータの他に、ハブが用いられる。ルータとハブ2つの違いについて、参考資料「OSI参照モデル」に照らして述べよ。
- (2) 図中のクライアント44のIPアドレスの、ホスト部を2進数で書け。ただし、内部ネットワークのクライアント全てにサブネットマスク(255.255.255.0)が設定されている。
- (3) 図中 には、WEBサーバ、メールサーバ、DNSサーバなどの公開用サーバが設置されている。この領域がDMZ(非武装地帯)と呼ばれる理由はなぜか、簡潔に説明せよ。
- (4) 図中のクライアント3の使用中に、コンピュータウイルスの感染を警告するメッセージが表れた。このクライアントのユーザがとるべき対応を、経済産業省の定めている「コンピュータウイルス対策基準」に基づいて、簡単に説明せよ。

[7] インターネットの活用について書かれた次の文を読み、下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

Web 2.0は、インターネットの潜在的能力を有効に活用することによって、従来のWeb 1.0とは異なる新しいウェブの世界を構築する概念である。ウェブをプラットフォームとするWeb 2.0の特色は、「利用者参加」と「オープン志向」である。これによって「SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」や「ブログ」等の消費者発信型メディアによる情報発信が容易になった。また、「ロングテール現象」もWeb 2.0によってもたらされた現象の1つである。

- (1) ウェブをプラットフォームとする利点を利用者の立場から、簡潔に説明せよ。
- (2) 「SNS」について、簡潔に説明せよ。
- (3) インターネットをビジネスに活用することで生まれた「ロングテール現象」について、「商品需要」という用語を用いて、簡潔に説明せよ。